

会報 こぶし

秋の研修バス旅行（報告）

発行 北地イティ会
花ミニユニ協議会
編集 総務企画部会

総務企画部会

染症の蔓延状況を確認して「花北地区のみなさんへ～秋の研修旅行～ご案内」をしたところです。

花北地区ミニユニ協議会が主催（主管・総務企画部会）する秋の研修バス旅行は、記録がある資料で確認すると平成21年から行われ今回で12回目となります【詳細は、こぶし27号参照】。

2019（令和元年）年に発生した「新型コロナウイルス感染症（COVİD-19）」蔓延の影響を受け、昨年、一昨年は実施することが出来ませんでした。

現在もコロナウイルス感染症が第7波として全国で発生していますが、感染症予防対策として国が主導してワクチン接種を継続的に行い、その後、日常の生活回復と経済活動等への規制緩和が図られたことから、関係者皆様方のご協力を得て研修バス旅行を実施するため何度も会議を開き、コロナ感

染症の蔓延状況を確認して「花北地区のみなさんへ～秋の研修旅行～ご案内」をしたところです。

その結果、募集定員80名に対し、120名の参加申し込みがありビックリしました。特に、ご夫婦の参加希望者が多く、当初、公開抽選を行う予定でしたが、コロナ禍で皆さん方は外出も我慢してきたので大型観光バスを2台から3台に増やすよう当部会から事務局、協議会長にお願いし、応募者全員が参加できることとなりました。ご英断に感謝しています。



石巻市観光協会のボランティアガイドの案内で被災復興状況を学ぶ



地震の震源地は、石巻市の東方130km。震度M9



旅程は、当初より1時間早め朝6時30分に花北振興センターを出発し、宮城県石巻市の東日本大震災（2011年3月11日14時46分頃に発生した東北地方太平洋沖地震及び福島第一原子力発電所事故）の災害）被災地域を現地ガイドの案内で被災復興状況等について現地視察研修し、災害の恐ろしさと普段からの災害への対応準備の重要性を学んだところです。

昼食会場は分散ましたが、松島海岸等の新鮮な魚介類を皆で美



仙台うみの杜水族館
イルカショー

ターチェンジから東北自動車道を走り続け、17時30分の予定時刻に花北振興センターに無事到着し解散。参加者の皆さん、現地ガイド、運転手、バスガイド、事務局の皆様に感謝いたします。

「仙台うみの杜水族館」も地震津波からの復興施設で、魚介類や多様な海の生物、ペンギンなどの動物が飼育展示され、イルカなどのショーや見学し、自然環境保全と調和の大切さを学びました。帰路の観光バスは、仙台港インターで東北自動車道を走り、参加者の皆さん、現地ガイド、運転手、バスガイド、事務局の皆様に感謝いたしました。

宗歴史館は自由見学となりました。昼食後は、観光客や修学旅行生も訪れている中、松島おさかな市場やお土産店で個々に買い物を楽ししながら、被災地の復興支援を中心がけ沢山の買い物を行い、皆さんの満足顔が印象的でした。

◆令和4年度文化祭について

教育文化部長

松田廣邦

10月1日・2日の両日、花北地区文化祭が開催されました。未だ収束の見通しが立たないこのコロナ禍のなか、まさに開催を祝するかのような2日間の好天でした。当初開催するに関して四つの懸念を抱えていました。



協議会各部会員の協力で会場準備

一つは2年間のブランクによる会場づくり、二つ目は開催周知の遅れによる作品制作の取り組み、三つ目として展示作品の取り組み意欲でした。一つ目のブランクについては、この2年間で各地区の運営委員が交代し、予備知識に欠ける不安から3年前の資料で当時の様子を思い出して見ました。実際に超ベテラン委員の存在でパネル組立等に、その経験と実力を發揮して戴きました。

しかし、ご案内した小・中学校では過去に要請した数と同程度の作品を準備して戴き大きな力となりました。四つ目の実行委員会の取り組みですが、当初における状況は、必ずしも積極的なものではなく、出来れば中止という気持ちがあつたことも否定出来ませんでした。開催の環境としては「まなび学園祭」の実施の可否が鍵で、7月に最終決定を行いました。

教育文化部内で取組意思に温度差があつたものの最終的に全員で取り組む方向を確認できたことは幸甚でした。以上のことを踏まえて迎えた開会セレモニー、3年前と同様総勢9名のお琴の演奏が行なわれ、正に開催を祝うエールとして聴かせて戴きました。演奏と併せて歌唱された方の美しい高音の歌声には唯々感嘆するばかりでした。



小・中学生の発表作品を鑑賞する子供たち



開会セレモニーの琴演奏会



盆栽と花北地区山車の写真展示



手芸品など各種の作品を展示

お蔭であり、そして実行委員会の皆さん、事務局職員の努力の賜物と感謝しております。

今回の文化祭再開を契機として今後益々花北地区の芸術文化の高揚が図られて行くことを切に願うところです。

地区だより

花北山車保存会 会長 大原 健

2年間行われなかつた花巻まつりが挙行されると決定したのが、5月の中旬、そこから花北地区山車保存会の令和4年度の始まりでした。

それ以前、令和4年1月には国(文化庁)から、山車の修繕に関して補助金が出ることによりかなり痛んでいた台車の修理が認定され、足回りなどを修繕することが出来ました。

山車制作部は同じ頃から今年の山車の風流の検討を始め、「出雲の国譲り之躰」、見返しが「岩手の宝」と決定いたしました。3年ぶりの山車制作でしたが、一部に關して意見の相違はあったものの総じて順調に経緯しました。特にも、見返しの「岩手の宝」では、菊池雄星投手・大谷翔平選手の出来栄えは秀悦であり、特に菊池投手に関してはとても似ていると、沢山の方々から、お褒めの言葉をいただきました。

運行に関しては上町でのパレードは2日間ですが、花北の山車は例年通り3日間行うことで決定しました。

ました。また順路も例年通りではなく、時間を短縮しての運行でした。特にもコロナ感染防止のため参加者名簿、当日の検温、抗原検査での陽陰判定を行つてからの参加、大人の参加者は白手袋を装着しての徹底ぶりでした。

参 加 者 名 簿、 当 日 の 検 温 、 抗 原 検 査 で の 阳 隆 判 定 を 行 つ て か ら の 参 加 、 大 人 の 参 加 者 は 白 手 袋 を 装 着 し て の 彻 底 ぶ り で し た。



花北地区山車「風流 出雲の国譲り之躰」



大谷翔平



菊池雄星

山車の見返しは、アメリカ
大リーグで活躍の野球選手

例年であれば、昼の部・夜の部に分かれており、その間食事休憩があり、夜の部が終われば、ホー

ルにてご苦労会をして一日が終わりましたが、今年は、お酒・食事は無し(金曜日は運行時間が長いため中間休憩におにぎりを出しました)で運行終了後、弁当と飲料をお渡しすることとしました。

活動の目的は、公園がきれいなことは当然ですが、それよりも大事なことは近年、地域住民の交流や結びつきが少なくなつており、そのような課題が活動を通して、少しでも解決する糸口になつてくれればよいと思っています。



皆さん総力をあげて山車運行

全てにおいて、例年と異なるお祭りでした。時間の短縮・飲食禁止・ルートの変更等々、戸惑いはありましたがあつたが、3日間無事終了することができました。山車制作に携わった方々をはじめ、運行部・交通整理部・給食部・囃子方部各部の皆様、小太鼓を演奏した稚児の皆様、本当に疲れさまでした。

来年こそは、例年通りの花巻まつりで花北地区の山車運行が出来ることを祈念いたします。

活動内容は月1回、年6回の日曜日午前6時からの活動で、草取り・草集め作業になり、小一時間

本館一号公園をきれいにする会の活動について

浅沢町内会 副会長 佐藤 明

公園をきれいにする会の活動は今年で23年目を迎えてます。花巻市からの委託を受け、ご指導を頂きながら活動をしています。

活動の目的は、公園がきれいなことは当然ですが、それよりも大事なことは近年、地域住民の交流や結びつきが少なくなつており、そのような課題が活動を通して、少しでも解決する糸口になつてくれればよいと思っています。

活動メンバーは公園の近くの方々15人ですが、今年から一家で参加している方もおり嬉しく思っています。しかし、年々、メンバーは高齢化し減少傾向にありますので、これから運営が難しくなつてくると思われます。参加しても良いと思われる方がおられましたら是非ご協力をお願いします。仲間同士が楽しみながら「あまり無い」をモットーとしていますので気楽にお集まり下さい。

活動内容は月1回、年6回の日曜日午前6時からの活動で、草取り・草集め作業になり、小一時間

で終わります。草刈り作業はその4日前に専任の3人で行っています。

公園の利用者は、近所の子供が親と一緒にすべり台で遊んでいたり、近くの保育園児が大勢で楽しんだりしています。なかには遠くから車で来て遊んでいる親子も見かけます。



草刈り専任の3名です

公園自体は、あまり大きな公園でないので、目が届きやすいといふこともあります。小さな子供の利用者が多いようです。そのようなこともあり、フエンスにサッカー、ボールなどの硬いものをぶつけたり壊す小中学生もたまにいますが、小さな子供が車道に出ないようにならぬながら続けてきましたが、今さないようにお願いします。



きれいになった公園内

今年の出来事

四日町三丁目 自治会長 菊池 篤

月に1回ではありますが、会員になり地域のため、人のために爽やかな汗をながしませんか。

(文責 世話役代表 久慈和男)

私は幼い頃から体を動かすのが大好きな子どもでした。決して身体能力が優れていたわけではありませんが、中学から始めたバドミントンを大人になつても続け地域の大会にも参加させていただきました。娘が中学に入学して始めたバドミントンの部活動をきっかけに、「昔取った杵柄」で教え始めました。素振り、フットワーク、基本練習、試合相手と一緒に汗を流し20年ぐらい、多くの人に助けられながら続けてきましたが、今

それでもできなかつた事が少しずつ正常化に向かつて明るい兆しが見えてきて次に何が出来るか楽しく嬉しくも思つております。最近、健康維持のために自転車を買って自宅付近を乗り回しています。天気が良く気持ちも乗ります。天気が良く気持ちも乗った時は四日町界隈を通りイギリス海岸へ向かい、賢治さんと歩く心象ロードを南下し豊沢川を西へ上根子方面へ。鶯、かつこう、雉等の鳴き声を聞きながら、そして心地よい風を受けながら走り、歩道わ

では見る影もなく今年卒業させていただきました。

年のせいか、昔の交通事故の後、遺症かわかりませんが最近とみに、脚の調子が思わしくなく市内の温泉に行つてゆっくり療養していましたが、2月の役員会で今年は役員改選の年、佐藤前会長より新自治会長を依頼されることになりました。私は自治会の役員を6年前に引き受けたので自治会行事の流れは大体わかつているつもりでしたが、コロナ禍で2年以上通常の行事が行えないでいたので、3年ぶりのお祭り準備も以前の資料を見ながら頭をひねりひねり進めてしまいました。



宮沢賢治が命名したイギリス海岸

◆編集後記

本号への原稿ご提出に感謝致します。
秋の研修バス旅行に参加した皆さんには、視察研修で感じたことを「こぶし」に投稿してくださるようお願いします。

編集長 佐藤拓美